

年頭のごあいさつ



占冠村長
田中 正治

村民の皆さん、明けましておめでとうござい
ます。健康やかな新年をお迎えのことと、心からお喜
び申し上げます。昨年、平成から令和へと時代は変わり、新
たな時代に期待を寄せた年だったのではないで
しょうか。

私はこの1年間、村民の皆さんのご期待に沿
えているのかの思いを感じながら、お約束を
した村づくりの目標に向かって挑んできたこ
ろですが、新たな年へ向かって「住み続けたい
と思える村づくり」のため全力で取り組んで
まいります。

今年、東京オリンピック、パラリンピックが
開催され、2020年は日本にとって大きな節
目となります。

今年の干支「子年」は、再び新しい十二支の
サイクルがスタートする年でもあります。子年
は新しい運気のサイクルの始まりで、植物に例
えると成長に向かって種子が膨らみ始める時期
であり、未来への大いなる可能性を感じさせま
す。また、ねずみは「ねずみ算」と言う言葉が
あるほど、子どもが増えていくことから「子孫
繁栄」の象徴でもあります。

他にも子年の人は「寝ず身働き者」とされ、
真面目にコツコツと働く人が多く、節約家で財
を成すことができるほか、「火事の前にはねずみ
がいなくなる」などのことわざから、どんな状

況でもその危機察知能力を生かせば、人生を難
なく歩んでいけると言われています。

全国各地では台風、大雨など自然災害が多く
発生しましたが、今年は災害に対する備えを充
分に図り、健康には留意され元気に過ごせる年
になればと願うところです。

昨年、占冠村においては基幹産業である農業
で新規就農者やUターンによる就農が始まり、
林業においても方向性が少し定まったのではと
感じています。

観光産業では、トママリゾート内の星野リゾ
ート・トママ、クラブメッド北海道トママが順
調に運営され、リゾート地としての地位を一段
と高め、北海道内においても期待される地域と
して前進しました。

また、公約のひとつである占冠保育所の建設
も順調に進み、本年4月には開所式を迎える運
びとなっており、定住環境の進展を図るための
条件である、福祉・子育て・交通・教育などの
一つとして、地域振興にとって大きな役割を果
たしてくれるものと思っています。

住民生活を維持発展するためには、まだ多く
の課題を抱えている現状を認識しておりますが、
占冠村の限らない発展のため、村民の皆さんと
共に全力で村づくりに取り組んでまいります。

村民各位におかれましては、本年も希望に満
ちたすばらしい年でありませうお祈り申し上
げ年頭のごあいさついたします。



占冠村議会議長
相川 繁治

村民の皆様、新年明けましておめでとうござ
います。この一年が最良の年でありますよう心
からお祈り申し上げます。

年号も平成から令和へと変わり、気も心も新
たに、多くの課題を克服していかなければなり
ません。

昨年4月、地方統一選挙が行われ、定員8名
中4名が新議員として当選されました。

しかし、このような中で、中心的役割を果た
していた故山本敬介議員が病に侵され、11月4
日、志なかなばにしてご逝去されました。このこ
とは、議会としても、また、村においても大き
な痛手であり、誠に残念でなりません。

前期に続き、2期連続1名欠員となり、少数
議会ではありますが、村民皆様のご理解のもと、
議員一同力を合わせ、皆様の負託にこたえるべ
く取り組んでまいります。

相変わらず、毎年のように日本各地において
も大規模自然災害が発生、多くの尊い人命が失
われております。総務産業常任委員会の村内所

管事務調査では、昭和36年建設の双珠別ダム調
査を行い、水害対策の認識も新たにしたいところ
であります。

今年、村民の待望であり、田中村長の公約
でもあります占冠保育所の建設が着々と進み、
4月開所予定と伺っており、関係の皆様も楽し
みにされていることと思います。

また、議会としましては、昨年に引き続き、
村内中学生とのコミュニティ・スクール議会を
行い、中学生の意識の向上につながったものと
思います。また、議員活動にも一定の好影響が
あるのではないかと期待をいたしております。

一方、最近、高齢者の運転ミスによる事故
が増加傾向にあります。村内における免許返納者
なければならぬ課題の一つであると考えてお
ります。

村民皆様にとって、この一年が災害のない、
安全で安心して暮らせる一年でありますことを
願い、年頭にあたってのご挨拶いたします。